

注目ポイント

- ✓先週のドル円は、円安ドル高が進展。24日には「高市首相が日銀の植田総裁と16日に会談した際に、追加利上げに難色を示していた」との報道を受けて円売りが優勢となった。また25日には、政府が国会に提示した次期日銀審議委員の人事案を受けて日銀の早期利上げ観測が後退し、円が売られた。株式市場では、日銀の早期利上げ観測が後退する中で日経平均が大幅に上昇。26日には一時5万9千円台に乗せる場面もあった。
- ✓今週のドル円は、円弱含みでのみみ合いか。米国とイスラエルによるイランへの攻撃を受けて、外為市場では「有事のドル買い」が入りやすいと予想される。また日銀の早期利上げ観測が後退していることも円安要因。一方、日経平均は軟調な展開か。中東情勢の緊迫化でリスク回避の売りが先行しやすいとみられる。ただその一方で、高市政権の拡張的な財政政策に対する期待感が根強いことから、株式相場が大きく下げる場面では押し目買いが入りやすいと予想される。(北田英治)

①マーケット動向(実績データ)

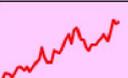
2026年2月23日

～

2026年2月27日

市場・指標			2月23日～2月27日		2月27日	前週末比		トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	騰落幅	騰落率	
株式	 日本	日経平均 (円)	59,332	56,681	58,850	+2,025	+3.6%	
	 米国	NYダウ (ドル)	49,815	48,679	48,978	-648	-1.3%	
	 ドイツ	DAX (ポイント)	25,406	24,878	25,284	+24	+0.1%	

市場・指標			2月23日～2月27日		2月27日	前週末比		トレンド (直近2か月)
			最高	最低	終値	変化幅(%)		
金利 (国債)	 日本	10年 (%)	2.170	2.055	2.110	+0.005		
	 米国	10年 (%)	4.08	3.94	3.94	-0.14		
	 ドイツ	10年 (%)	2.74	2.64	2.64	-0.10		

市場・指標			2月23日～2月27日		2月27日	前週末比		トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	変化幅(円)		
為替	 米ドル (円)		156.82	154.00	156.05	+1.00		
	 ユーロ (円)		184.77	182.00	184.36	+1.68		
	 豪ドル (円)		111.48	108.81	111.07	+1.25		

市場・指標			2月23日～2月27日		2月27日	前週末比		トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	騰落幅	騰落率	
その他	 日本	東証リート (ポイント)	2,036	1,996	1,999	-2	-0.1%	
	 米国	NY原油 (ドル)	67.83	63.60	67.02	+0.6	+0.9%	
		NY金 (ドル)	5,299	5,110	5,248	+167	+3.3%	

(注) Bloombergのデータを使用して浜銀総研作成。 休日・休場の場合は、その前営業日の値を使用して作成してあります。

②マーケット動向(振り返り&予想)

2026年3月2日 ~ 2026年3月6日

● 株式

中東有事で軟調な展開か

日経平均
【予想レンジ】 57,500 円 ~ 59,500 円

- 先週の日経平均は大幅に上昇。25日には前日の米国株の上昇に加えて、日銀の次期審議委員の人事案を受けて早期の利上げ観測が後退したことから、日経平均は大幅に上昇した。26日には一時5万9千円台に乗せる場面もあった。ただ、その後は短期的な過熱への警戒から利益確定売りが出たため、上値の重い展開となった。
- 今週の日経平均は中東有事を受けて軟調な展開か。米国とイスラエルによるイランへの攻撃によって中東情勢が緊迫化しており、株式市場ではリスク回避の売りが先行しやすいとみられる。ただその一方で、高市政権の拡張的な財政政策に対する期待感が根強いことから、株式相場が大きく下げる場面では押し目買いが入りやすいと予想される。



● 金利 (国債)

国内金利は低下か

10年国債利回り
【予想レンジ】 2.050 % ~ 2.150 %

- 先週の国内金利は週間ベースでほぼ横ばい。25日には、政府が国会に提示した次期日銀審議委員の人事案を受けて、早期の利上げ観測が後退。日銀の利上げの遅れがインフレ圧力を高めるとの警戒感から長期金利が上昇した。ただ週末27日には、前日の米長期金利の低下を受けて国内金利も低下。2月の都区部CPIの上昇率が鈍化し、日銀が早期の利上げに動きにくくなるとの思惑も債券相場を支えた。
- 今週の国内金利は低下か。中東情勢の緊迫化を受けて株式相場が下落すれば、安全資産の債券に買いが入りやすいと予想される。ただ週内に実施される10年国債の入札(3日)や30年国債の入札(5日)に対する警戒感から、債券の売り圧力が強まる可能性にも要注意。



● 為替 (米ドル)

円弱含みでのみみ合いか

米ドル/円
【予想レンジ】 155.00 円 ~ 158.00 円

- 先週のドル円は、円安ドル高が進展。24日には、高市首相が16日の植田日銀総裁との会談で利上げに難色を示したとの報道を受けて、円売りが膨らんだ。また25日には政府が日銀の次期審議委員の人事案を国会へ提示。市場では、後任候補の2人がともに金融緩和や財政出動に積極的な「リフレ派」の考えに近いとの見方が広がり、日銀の早期利上げが難しくなるとの思惑から円が売られた。
- 今週のドル円は、円弱含みでのみみ合いか。中東情勢の緊迫化を受けて「有事のドル買い」が入りやすいと予想される。また先週、日銀の後任審議委員にリフレ派とされる候補者が指名されたことで早期利上げ観測が後退していることも円安要因。ただ、6日の米雇用統計(2月)が弱い内容となればドル安方向に振れる可能性も。

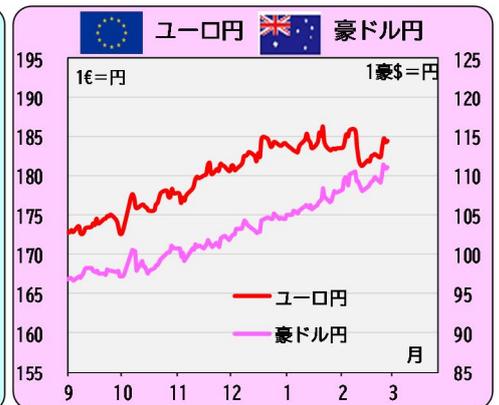
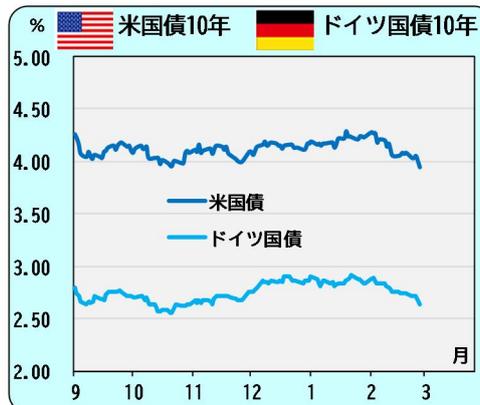
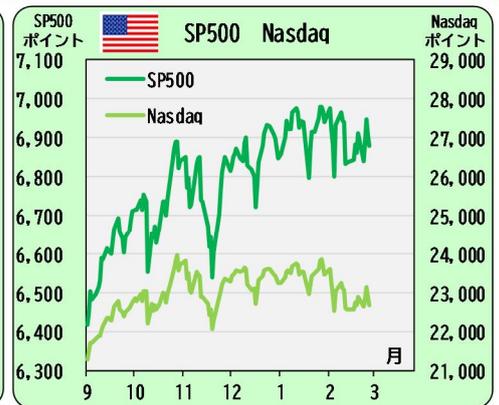


○今週の注目指標 ※内容および日程が変更される場合があります。

月日	国内	海外
3/2(月)	日銀の氷見野副総裁が講演(和歌山県金融経済懇談会)	米国: 耐久財受注(1月) 米国: ISM製造業景況指数(2月)
3/3(火)	国債入札(10年) 日銀の植田総裁がFIN/SUM(フィンサム)2026で挨拶	
3/4(水)		米国: ISM非製造業景況指数(2月) 米国: 地区連銀経済報告(ページブック)
3/5(木)	国債入札(30年)	米国: 貿易収支(1月)
3/6(金)		米国: 雇用統計(2月) 米国: 消費者信用残高(1月)

③その他チャート集

直近6か月



※頻出英字略称用語一覧

略称	正式名称	略称	正式名称	略称	正式名称
ADP	米国の給与計算代行大手会社	FOMC	米公開市場委員会	PBR	株価純資産倍率
AI	人工知能	FRB	米連邦準備理事会	PCE	個人消費支出
CTA	商品投資顧問	FTA	自由貿易協定	PER	株価収益率
CTFC	米商品先物取引委員会	GDP	国内総生産	PMI	購買担当者景気指数
CPI	消費者物価指数	IMF	国際通貨基金	PPI	卸売物価指数(生産者物価指数)
ECB	欧州中央銀行	IEA	国際エネルギー機関	SQ	特別清算指数
ETF	上場投資信託	ISM	米供給管理協会	TPP	環太平洋経済連携協定
EU	欧州連合	OECD	経済協力開発機構	WSTS	世界半導体市場統計
FDI	海外直接投資	OPEC	石油輸出国機構	WTI	ウエストテキサスインターメディアート(原油)
FF	フェデラルファンド	OPEC+	OPEC加盟国と非加盟国の枠組み		

●ご留意事項

- ・本レポートの目的は情報提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載した内容は、発行日午前6時までの情報にもとづく浜銀総合研究所・調査部の見解であり、レポート発行後に予告なく変更することがあります。また、本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源にもとづいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。最終的な投資判断はお客さまご自身でなさるようお願いいたします。
- ・本レポートに関するお問い合わせは浜銀総合研究所・調査部までお願いいたします。